

39 知らないはずの言葉の規則がわかる!—外国語の学び方を学ぼう—

外国語と聞けば英語を思い浮かべる人が多いです。学校で学ぶ英語学習は膨大な単語や文法を暗記することだと思っている人が多いですが、暗記だけの英語（外国語）学習では限界があります。出張講義では、「外国語の学び方」を学ぼう、と題し、英語を含む多くの外国語を比べたり、眺めたりすることを通して言語の規則性に気づいたり、言語同士の違いを楽しみます。そうした体験活動を通して、全く知らない言語の学び方を考えます。

講 師

岩坂 泰子 教授

専 門 分 野

初等外国語教育

現在の研究テーマ

外国語学習教材の開発、外国語と他教科および言語領域における幼保少の連携活動

担 当 科 目

外国語（英語）科指導法、多文化共生とこども

出 講 可 能 日

ご相談に応じて、金曜日

研究テーマの詳細

講義に必要な機材

プロジェクター、スクリーン



40 こどもの心を育てる —こどもの視点に立って—

いま、目の前にあることを純粋に味わう世界をこどもたちは生きています。この講義では、愛着や遊びをキーワードに、みなさんと一緒にこどもの世界を味わう体験をして、こどもの心の育ちに迫ってみましょう。

講 師

勝浦 眞仁 教授

専 門 分 野

特別支援教育・保育、
発達心理学

現在の研究テーマ

保育・教育の場における現象学的研究

担 当 科 目

特別支援教育、こどもと人間関係

出 講 可 能 日

春学期：水曜日

秋学期：月・水曜日

研究テーマの詳細

講義に必要な機材

プロジェクター、スクリーン



41 遊びがいっぱい！ 子どもの遊び

保育所や幼稚園では、子どもが夢中になって遊べるように、保育者がたくさんの工夫をしています。主体的に遊ぶことで、子どもは育つと考えられているからです。この講義では、実際に遊んだり、子どもの様子を紹介したりしながら、遊びの中にどのような育ち（学び）があるかについて一緒に考えていきます。保育者の援助についても解説します。

講 師

真宮 美奈子 教授

専 門 分 野

保育・幼児教育

現在の研究テーマ

遊びを通した子どもの学びと保育者の援助

担 当 科 目

保育者論、保育内容総論

出 講 可 能 日

金曜日、ご相談に応じて

研究テーマの詳細

講義に必要な機材

プロジェクター、スクリーン



42 学校では教えてくれない言葉の深い話 ー絵本、小学校教材を豊かに経験しようー

私たちは、たくさんの言葉を使って生活していますが、いちいち辞書で意味を確認したりはしませんね。それらの言葉を知っているからです。しかし知ってはいるけれども、実は分かってはいないのです。言葉には、学校では教えてくれない豊かな意味や働きがあります。その意味や働きを知れば、読むことも書くことも考えることも面白く、楽しくなります。絵本や小学校の国語教材を使って、その面白さ・楽しさを経験してみましょう。

講 師

森川 拓也 准教授

専 門 分 野

国語科教育 授業研究 言葉の発達

現在の研究テーマ

言葉の力を育む授業づくりのあり方、
硬直化した教材観を変える価値と方法

担 当 科 目

国語科指導法、児童文学論

出 講 可 能 日

春学期：金曜日、ご相談に応じて
秋学期：水曜日、ご相談に応じて

講義に必要な機材

プロジェクター、スクリーン

43 こどもの音楽表現を体験してみよう

こどもとの音楽活動には、歌唱や器楽のほか、わらべうたなど身体表現を伴ったものがあります。幼稚園での音楽表現活動や、小学校で行われている音楽の授業について、一緒に体験しながら学びましょう。

講 師

中村 愛 助教

専 門 分 野

音楽教育学、ピアノ演奏法

現在の研究テーマ

保育者・教員養成校のピアノ指導法の開発、
幼小接続を考慮した音楽表現活動

担 当 科 目

音楽科指導法、こどもと音楽表現

出 講 可 能 日

火曜日

講義に必要な機材

プロジェクター、スクリーン

44 えっ、ここにも数学？ 日常にひそむ「数」の意味を探ろう

私たちの身のまわりには、テストの点数や SNS のフォロワー数、座席の数え方や建物の形などにも様々な「数」が存在しています。数は単なる計算の道具ではなく、社会の仕組みや人々の考え方を映し出す鏡でもあります。本講義では、算数や数学をただ計算するだけでなく、身近な題材を通して「数が持つ意味」や「数が生み出す価値」を感じてもらい、社会や自然の仕組みを理解するためのレンズとして数の関わりを一緒に考えていきます。

講 師

椎名 美穂子 教授

専 門 分 野

算数・数学教育

現在の研究テーマ

測定領域における数学的リテラシー形成と概念素地の
促進を目指す教材開発

担 当 科 目

算数科指導法、こどもデータサイエンス

出 講 可 能 日

ご相談に応じて

講義に必要な機材

プロジェクター、スクリーン

45 こどもと居場所

本講義では、こども食堂などの「第三の居場所」に着目して、「こども・若者の居場所」とは何かを考えます。居場所は単なる空間ではなく、人との関係や語りを通して形づくられる社会的な場です。こどもが安心して声を出せる居場所が、学びや成長、地域とのつながりにどのような意味をもつのかを、具体的な事例とともに探究し、高校生自身の経験とも結びつけて考えます。

講 師	専 門 分 野
新谷 龍太郎 准教授	教育社会学
現在の研究テーマ	
学校と地域の協働	
担当科目	
教育社会学、家族社会論	
出講可能日	
春学期：水曜日 秋学期：月曜日	
講義に必要な機材	
プロジェクター、スクリーン	

46 紙に生命(いのち)を与えよう!

本講義では、幼児教育においていろがみや紙コップ、ストローなど身近な材料で製作するおもちゃを作ることを通じて、その中に込められた保育のねらいや子どもの学びについてお話しします。

講 師	専 門 分 野
竹井 史 特任教授	美術教育学・幼児の造形あそび
現在の研究テーマ	
身近な材料を利用した玩具の教材開発。幼児の土による造形活動を活性化させるスーパークレイの開発。幼児の絵画指導など	
担当科目	
保育内容（表現）、こどもとアート	
出講可能日	
春学期：水曜日 秋学期：火・水曜日	
講義に必要な機材	
プロジェクター、スクリーン	

研究テーマの詳細



47 世界の小学校国語教科書に描かれた家族の姿を見てみよう

小学校の教科書は子どもたちの価値観形成に大きな影響を与えています。世界の小学校国語教科書にはどんな家族の姿が描かれているのでしょうか。日本の教科書に描かれた子どもとはどのように異なるのでしょうか。比較をしながら子どもにとって家族とは何かについて考えていきます。

講 師	専 門 分 野
塘 利枝子 特任教授	発達心理学・文化心理学
現在の研究テーマ	
小学校教科書に描かれた性別役割分業、外国につながる子どもの発達	
担当科目	
こどもの発達心理学、異文化体験論	
出講可能日	
月曜日	
講義に必要な機材	
プロジェクター、スクリーン	

研究テーマの詳細



48 子どもが夢中になる運動・スポーツの指導

日本人選手が大活躍のスポーツ界。どのように運動やスポーツを行えば一流選手への道が開かれるのでしょうか。幼少年期に行われる運動やスポーツは、子どもの成長にとってとても重要な意味をもちます。小学校の体育授業における運動・スポーツの指導方法について学びます。実際に簡単な運動も楽しみましょう。

講 師
梅垣 明美 教授

専 門 分 野
スポーツ倫理学、
スポーツ教育学、体育科教育学

現在の研究テーマ
幼児児童の体力・運動能力、運動習慣に関する研究

担 当 科 目
こどもスポーツ論、スポーツ文化論

出 講 可 能 日
金曜日

研究テーマの詳細

講義に必要な機材
プロジェクター、スクリーン



49 保育士が行うソーシャルワーク

保育士は、こども・保護者への支援だけではなく、地域の子育て家庭への支援も求められます。本講義では、保育士が行うソーシャルワークにはどのようなものがあるのかをお話しした後、簡単なワークを行うことで現場の保育士が行っているソーシャルワークを実感していただきます。

講 師
安田 志津香 特任教授 社会福祉学

現在の研究テーマ
「発達障害者への生涯を通しての支援」について研究しています。各ライフステージにおいて、発達障害当事者及び保護者に対してどのような支援が求められるのかを、現場の支援者と共に協議し、実践に生かしています。

担 当 科 目
こども家庭福祉、子育て支援

出 講 可 能 日
火・水曜日

講義に必要な機材
プロジェクター、スクリーン

50 子ども一人ひとりが深く学べる授業づくり

小学校において子どもたち一人ひとりが深く学ぶことのできる授業をつくるために必要なことはどのようなことでしょうか。現代こども学科の講義・演習で行っている授業づくりの模擬体験を通して、子どもたち一人ひとりが深く「学ぶ」ということの意味を考えると、授業づくりのおもしろさと難しさ、教師という仕事の内実がこれまでとは違って感じられるかもしれません。子ども／教師になったつもりで授業という世界を探究してみましょう。

講 師
吉永 紀子 教授

専 門 分 野
教育方法学

現在の研究テーマ
・子どもが自律的に学び育つ授業づくり
・省察的実践家としての教師が育つ学習過程に関する研究

担 当 科 目
教育方法と技術（ICT 活用を含む）、教育評価論

出 講 可 能 日
金曜日

研究テーマの詳細

講義に必要な機材
プロジェクター、スクリーン



51 伝える伝わるサイエンスコミュニケーション

紙と鉛筆を用意し、「大きな丸を描く。その上に少し小さな丸を重ねる。上の丸に横向きの小さな三角を描く。下の丸から左右に短い線を出す。」という指示どおりに描いてみてください。何ができましたか？ 言葉だけでは見えづらく伝わりにくいことも、話し方や教材の提示方法を工夫することで、相手に正確に伝えることができます。本講義では、こうした“伝わる技術”を実践的に学びます。

講 師

吉澤 樹理 准教授

専 門 分 野

理科教育、生活科教育、サイエンス
コミュニケーション、動物生態学

現在の研究テーマ

昆虫嫌いはなぜ起こるのか？
原因解明と学習環境デザインの開発

担 当 科 目

理科、生活科

出 講 可 能 日

金・土・日曜日、ご相談に応じて

講義に必要な機材

プロジェクター、スクリーン